

製品名: カテプシン H ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08013**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、ラット、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000 |
| 分子量 | 40kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|----------------------------------|
| 遺伝子名 | CTSH |
| 別名 | CTSH; CPSB; Pro-cathepsin H |
| 遺伝子 ID | 1512.0 |
| SwissProt ID | P09668 |
| 免疫原 | カテプシン H 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 70-150 |

背景

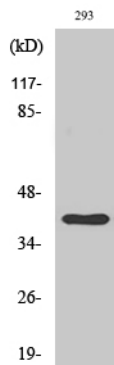
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、リソソームタンパク質の全体的な分解に重要なリソソームシステインプロテアーゼです。このタンパク質は、単一のタンパク質前駆体からジスルフィド結合した重鎖と軽鎖の二量体で構成されています。コードされ

ているタンパク質はペプチダーゼ C1 タンパク質ファミリーに属し、アミノペプチダーゼとしてもエンドペプチダーゼとしても作用します。この遺伝子の発現増加は、前立腺腫瘍の悪性化進行と相関しています。この遺伝子の選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。 [RefSeq 提供、2016年1月],触媒活性: タンパク質の加水分解。アミノペプチダーゼ (特に Arg-Xaa 結合の切断) およびエンドペプチダーゼとして作用する。機能: リソソームにおけるタンパク質の分解全体に重要である。類似性: ペプチダーゼ C1 ファミリーに属する。サブユニット: ミニ鎖とラージ鎖で構成される。ラージ鎖は重鎖と軽鎖に分割される場合がある。すべての鎖はジスルフィド結合によって結合されている。,

研究分野

リソソーム;

画像データ



カテプシン H ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析